

新たに鳥獣保護区に指定されるエリアで昨年6月に見つかったミゾゴイ。抱卵する様子が確認された(大阪府提供)



幻の鳥・ミゾゴイ繁殖

大阪府、保護区拡大へ

環境省のレッドリストで絶滅危惧種に分類され「幻の鳥」とも呼ばれる「ミゾゴイ」の繁殖が確認され、大阪府が鳥獣保護区を拡大することが8日、分かった。11月に指定し、保護区内では狩猟が禁止される。ミゾゴイは詳しい生態が分かっておらず、環境省も今年5月から保護に向けた調査に乗り出しており、専門家は「保護区拡大をきつ

けに数が増えれば」と期待を寄せている。

府動物愛護畜産課によると、拡大されるのは府南部の「紀泉高原鳥獣保護区」。阪南市の国有林192杉が指定されているが、岬町の国有林113杉も加え計305杉に拡大する。きつかけは住民らから寄せられた見慣れない鳥の目撃情報。府は昨年6月、今年2月、周辺を調査し、ミ



ゾゴイの成鳥や抱卵の様子が観察されたほか、オオタカ、ハヤブサ、ミサゴなどの希少な鳥類が確認され

ため保護区拡大を決めた。ミゾゴイは環境省のレッドリストで「絶滅の危険が増大している種」に指定。全長約50センチの渡り鳥で、魚やサワガニなどを食べる。希少な上、身の危険を感じると、じっと動かなくなる習性があり、周囲の風景に溶け込んで見つけにくいことから幻の鳥といわれる。環境省は、ミゾゴイの詳しい生態研究がほとんどないため、5月から調査を始めた。府内では大阪市内などでも目撃情報はあったが、繁殖が確認されるのは極めて珍しく、目撃情報も近年減っているという。

大阪でのミゾゴイの生息状況と鳥獣保護区の拡大について

大阪府鳥獣専門員 橋本正弘

数少ない夏鳥として飛来。泉南や北摂の良く茂った谷沿いの森林で見られる。

また、渡りの途中と思われる個体が各地で観察されている。春期の渡りの記録が多い。



大阪府レッドリスト2014: 絶滅危惧Ⅱ類

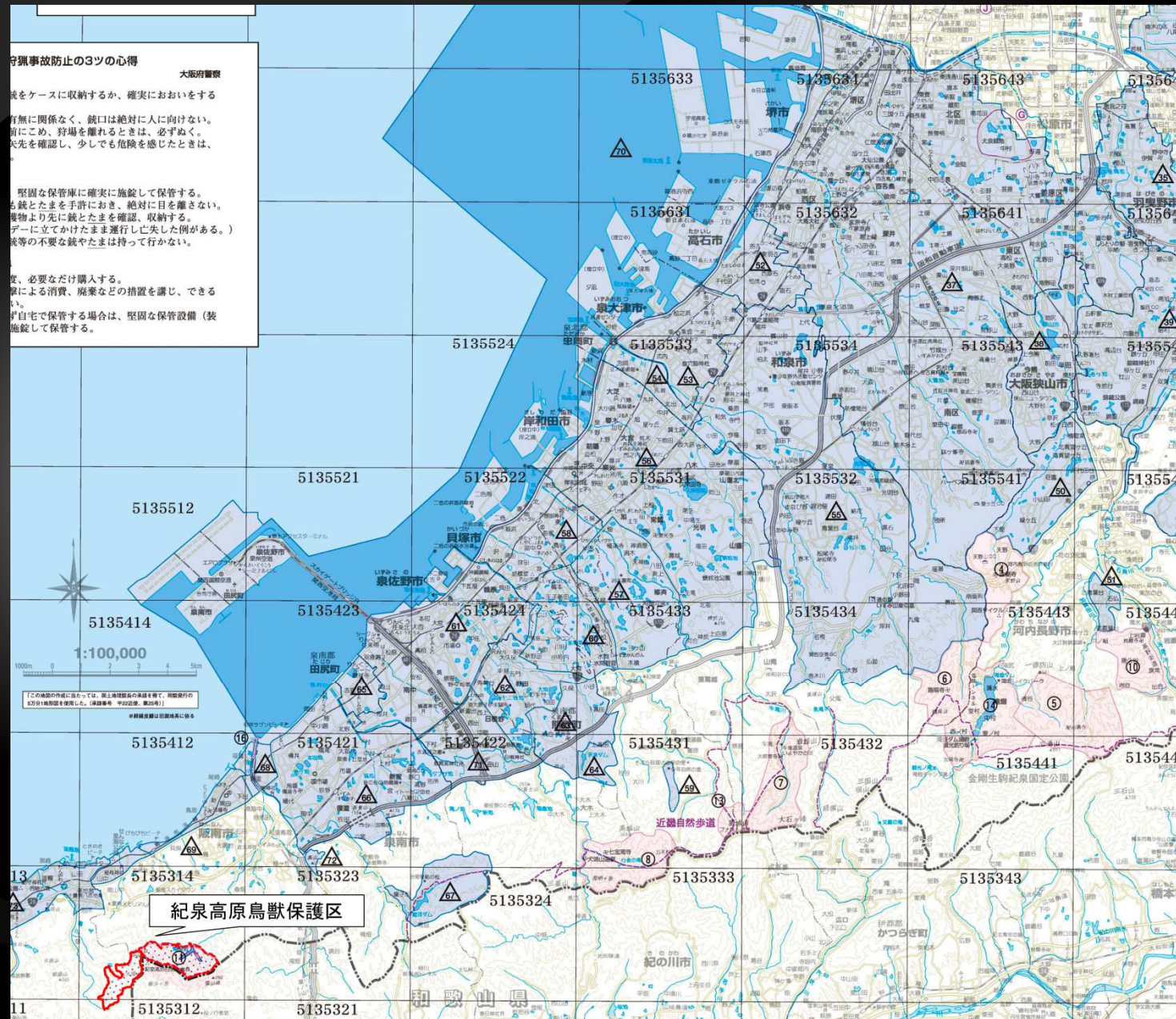
2013年6月には岬町の山林で抱卵中の2巣と古巣2巣が確認された。この発見が鳥獣保護区の指定区域の拡大の後押しとなった。

大阪城公園では、春期に例年少数が飛来している。
都市部の緑地が渡りの中継地として重要な役割を果たしている。

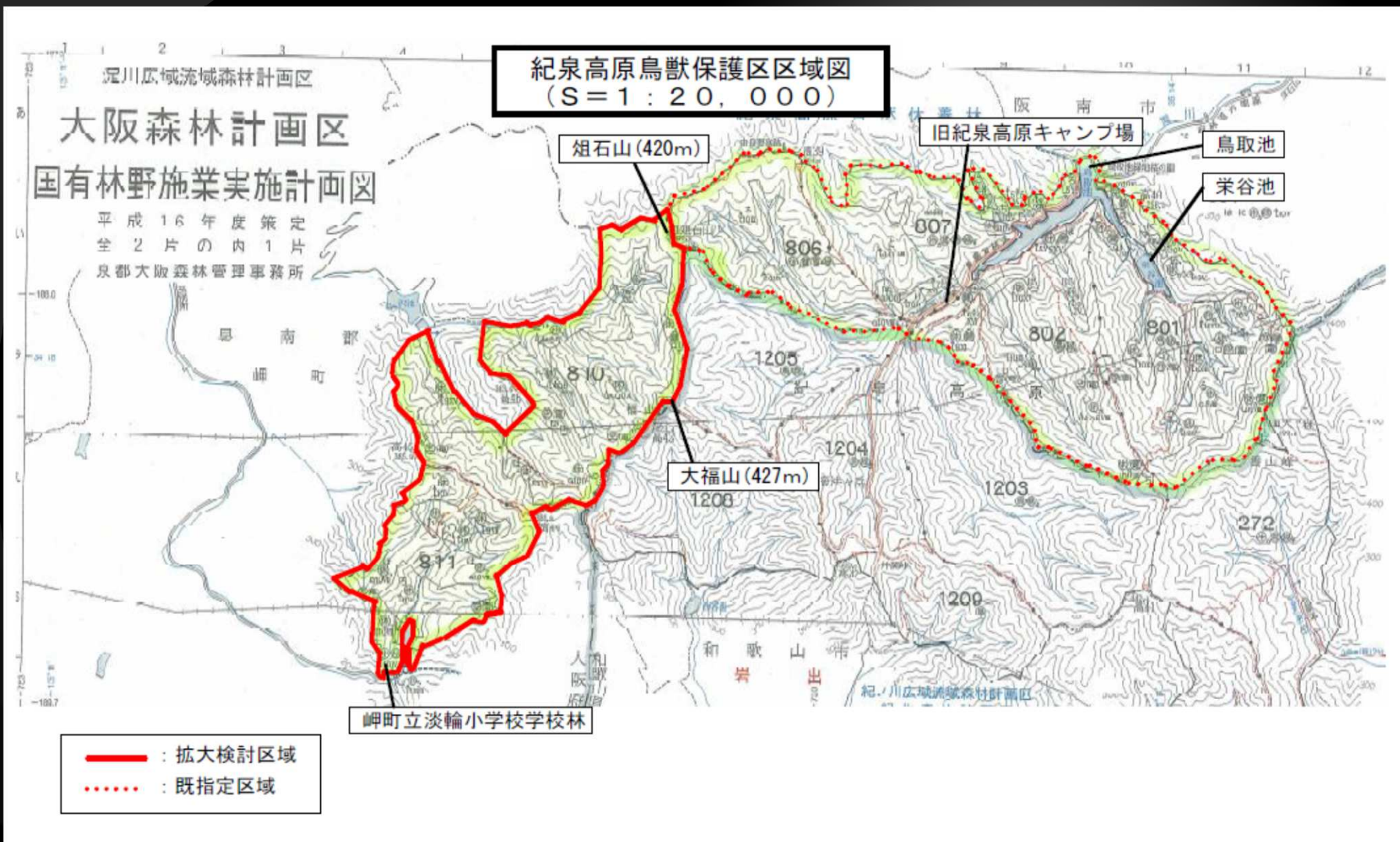




位置図（紀泉高原鳥獣保護区）



区域図



紀泉高原鳥獣保護区の区域拡張（前・後）の一覧表

	区域拡張(前)	区域拡張(後)
名 称	紀泉高原鳥獣保護区	
指定区分	森林鳥獣生息地の保護区	
区 域	阪南市所在国有林801、802、806、807の各林班、鳥取池及び同池堤防を含む一円の区域	阪南市所在国有林801、802、806、807の各林班、 <u>岬町所在国有林810、811の各林班、</u> 鳥取池及び同池堤防を含む一円の区域
面 積	192ha (国有林187ha、公有水面5ha)	<u>305ha</u> (<u>国有林300ha</u> 、公有水面5ha)
期 間	平成22年11月1日から平成32年10月31日まで(10年間)	<u>平成26年11月1日から平成36年10月31日まで(10年間)</u>
種 数	鳥類72種(環境省レッドリスト7種) 獣類4種 ※H21年調査	<u>鳥類79種(環境省レッドリスト9種)</u> <u>獣類16種</u> ※H25年調査

紀泉高原鳥獣保護区の全景



林内の状況



営巢地の環境



ミゾゴイの古巣（拡張区域で撮影）



ミゾゴイ（拡張区域で撮影・抱卵中）



ミゾゴイ（拡張区域で撮影・擬態）

